

令和 2 年度伊予市社会福祉協議会事業報告書

伊予市社会福祉協議会は、令和 2 年度の事業計画に基づき、重点目標を次の 3 点として社会福祉の推進に取り組みました。

【重点目標】

1. 包括的な相談支援体制づくり
2. 住民主体の地域福祉の推進
3. 在宅福祉サービスの充実

なお、法人運営事業をはじめ、実施した事業の主な内容は以下のとおりです。

《社協運営事業》

1. 法人運営等事業

※決算区分No.1~3

【事業内容】

理事会及び評議員会の開催並びに監査の実施等により、社協運営の発展と事務事業の適正化を図るとともに、福祉活動専門員による各種課題解決への取り組みや関係諸団体の活動支援、社協会員・会費についての啓発、社協だよりによる社協の取り組みの報告や各種事業のPR、また、新型コロナウイルス感染症対策の情報提供等を行った。

【実績】

1. 法人運営会議等

①理事会

開催日 令和 2 年 6 月 9 日・10 月 27 日・12 月 8 日・令和 3 年 3 月 16 日（4 回）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室

内 容 事業実績・決算、理事選任候補者の推薦、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会委員の選任、定時評議員会開催、上半期活動報告、補正予算、規程一部改正、事業計画・予算など

②評議員会

開催日 令和 2 年 6 月 24 日・12 月 18 日・令和 3 年 3 月 26 日（3 回）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室

内 容 事業実績・決算、理事選任、補正予算、事業計画・予算など

③監 査

開催日 令和 2 年 5 月 15 日

場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室

内 容 令和元年度事業実績・決算

④評議員選任・解任委員会

開催日 令和2年6月12日

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 評議員の選任

2. 広報啓発

①広報誌「いよし社協だより」の発行（年6回、奇数月）

内 容 事業計画・予算、社協会員加入のお願い、事業報告・決算、共同募金や生活相談支援センターからのお知らせ、障害者相談支援センターからのお知らせ、民生児童委員の活動紹介ほか

②社協イメージキャラクターあいみん。の日の活動

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3. 地域福祉活動計画審議会の開催

①令和2年度第1回審議会

日 時 令和3年1月19日(火)14時から

場 所 伊予市役所 大会議室

内 容 伊予市地域福祉活動計画の推進状況についてほか

4. 法人連携のための準備会

伊予市社会福祉法人連携会議設置に伴う会議の開催

日 時 令和2年10月20日(火)午前10時から

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 伊予市社会福祉法人連携会議設置要綱(案)について
連携会議代表についてほか

5. 伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』の開催

○式典、記念講演 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

《表彰》

民生児童委員、高齢者見守り員、ボランティア、共同募金運動功労者等への表彰状及び感謝状の送付

対象：21人、2団体、14広報委員区

6. 福祉機器の貸し出し 62件

車いす54件、ポータブルトイレ4件、バスボード1件、歩行補助器
1件シャワーチェア3件

7. 地区社協の活動支援

8. ほっとネットいよしの活動推進

《地域福祉事業》

2. 福祉サービス利用援助事業

※決算区分No.4

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断に迷い、適切な福祉サービスを受けることができない方に対し、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービスを行うことにより、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援を行った。

1. 業務範囲

- ①調査、支援計画の策定、契約など
- ②福祉サービスの利用援助
- ③日常的な金銭管理
- ④書類等の預かり

2. 人員体制

- ① 専門員：2人（社会福祉協議会職員）
- ② 生活支援員：2人（社会福祉協議会非常勤職員）

（実績）

- 利用者数 15人（内訳：認知2人、精神7人、知的6人）
- 支援回数
 - 定期支援 延168回（月平均14.0回）
 - 相談援助 延563回（月平均46.9回）
- その他 問い合わせ等 8件/12か月

3. 法人後見事業

※決算区分No.5

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がい等で日常生活上の判断能力が不十分になった場合に、不動産や預貯金などの管理、福祉サービスに関する契約、遺産分割などで不利益をこうむることがないように、社会福祉協議会が成年後見人等となり保護・支援を行った。

【実績】

- 受任件数 11件（令和2年度受任合計件数11件、死亡数を引いた現在の受任件数10件）
 - ・補助 1件 60代 1人 精神障がい（在宅）
 - ・後見 9件
 - 60代 1人 知的障がい（施設入所）
 - 50代 1人 精神障がい（長期入院）
 - 50代 1人 知的障がい（在宅）
 - 70代 1人 認知証あり（入院中）
 - 60代 1人 知的障がい（在宅）
 - 90代 1人 認知症（特別養護老人ホーム）
 - 80代 1人 認知症（グループホーム）
 - 90代 1人 認知症（グループホーム）

	40代 1人 知的障がい（入院中）
・死亡	1件 70代 1人 認知症（病院入院中） 9月23日死亡
・相続手続	1件 90代 1人 認知症（R2 3月4日死亡）
○訪問及び相談支援回数	
・補助	169回
・後見	1,069回
合計	1,238回 月平均 103回

4. 民生児童委員協議会運営事業

※決算区分No.6

【事業内容】
民生児童委員協議会の事務局として、地域福祉活動推進の支援を行った。
【実績】
○正副会長会・役員会・監査
・正副会長会
実施日：令和3年2月25日
内容：次年度計画について
参加人数：4人
・役員会
実施回数：12回（毎月1回）
参加延べ人数：184人
・監査
実施日：令和2年4月2日
内容：令和元年度会計監査
参加人数：4人
○総会及び臨時総会
・総会
内容：令和元年度事業報告・収支決算について
令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）について
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議
○主な研修会
・県外視察研修等
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
○その他
・みんな集まれ「にこにこ食堂」
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
・赤い羽根共同募金 事業所・法人募金活動への協力

- ・オピニオンリーダー養成講座に参加
- ・災害ボランティア養成講座に参加
- ・ほっとネットいよし（ふくしネットワークづくり検討会）への参加

5. 共同募金事業

※決算区分No.7

【事業内容】

募金運動についてわかりやすいチラシを作成しPRに努めるとともに、コロナ禍においても各方面のご協力をいただき募金を実施した。また、市内ボランティア・福祉団体や公募申請のあった団体に活動費等の助成を行なった。

歳末たすけあい募金については、ふれあいの集い等を通じて地域交流のために有効利用した。

【実績】

《募金活動》

1. 赤い羽根募金

期 間：令和2年10月1日～令和2年12月31日

種 別：戸別募金、事業所・法人募金、学校募金、職域募金など

2. 歳末たすけあい募金

期 間：令和2年12月1日～令和2年12月31日

種 別：戸別募金、事業所・法人募金など

《使いみち》

1. 赤い羽根募金（地域配分金）

・福祉団体等（19件）市内スポーツ少年団（18件）や公募によるささえあい活動（11件）への支援、社会福祉協議会実施事業（卒寿記念品贈呈、相談事業、あい・愛フェスタ）等へ活用

2. 歳末たすけあい募金

・歳末ふれあいの集い（75グループ）やひとり暮らし高齢者の友愛訪問、児童クラブクリスマス会等へ活用

6. 生活福祉資金貸付事業

※決算区分No.8

【事業内容】

低所得者世帯等に対し、資金の貸付けや必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。

更に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や給与の減少に伴い生活環境が変わった方に対しての特例貸付が令和2年3月25日から開始され、令和3年6月まで受付をすることになった。この貸付により生活再建を行い、また生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、より効果的・効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

(注) 伊予市社会福祉協議会では、利用希望者の相談受付、申請手続きを行うのみで、資金貸付は愛媛県社会福祉協議会で審査、決定の上行になっている。

【実績】

○相談件数 延 572 件

内 訳

世帯種別：低所得世帯 113 件、生活保護世帯 8 件、その他 451 件

資金種別：福祉資金（緊急小口）280 件、福祉資金（小口以外）11 件、
教育支援資金 5 件、総合支援資金 273 件、
不動産担保型資金 3 件

○貸付件数 451 件

内 訳

資金種別：福祉資金（緊急小口）212 件（うち特例貸付 210 件）、
総合支援資金 239 件（全て特例貸付）

7. まごころ銀行事業

※決算区分No.9

【事業内容】

預託いただいた方の意思に沿って、一人ひとりが豊かで、お互いに支えあい、また、安全・安心で快適に過ごすことができる地域を目指し、各地区社会福祉協議会活動やボランティア事業等に預託金を活用した。

【実績】

預託状況

- ・香典返し等 16 件、計 889,334 円

払出状況（運営委員会の計画に基づく助成等）

- ・指定団体等への払い出し
- ・各地区社会福祉協議会助成金（市内 6 地区）
 使いみち：地域ふれあい事業、敬老の家事業、給食サービス事業、紙おむつ支給事業 他
- ・災害見舞金（火事見舞 4 件）
- ・ボランティア関係事業

8. 生活困窮者自立支援事業

※決算区分No.10

【事業内容】

伊予市に居住する生活困窮者から個別に相談を受け、生活困窮者が抱える多様な課題の解決に向けた各種支援が計画的かつ包括的に行われるよう関係機関と連携し、生活困窮者の自立の促進に努めた。

【実績】

ボランティアセンター

- ・相談受付件数 延 139 件 継続支援者数 83 名
 うち、プラン作成件数 7 件

伊予事務所

- ・相談受付件数 延 167 件 継続支援者数 88 名
 うち、プラン作成件数 2 件

9. 心配ごと相談事業

※決算区分No.11

【事業内容】

日常生活におけるさまざまな悩みごとに、専門的見地からアドバイスを行った。

【実績】

弁護士相談 83件 ※相談内容は 85件	向井法律事務所所属弁護士 (ボランティアセンターで 毎月第1・3水曜日)	年金(1) 職業・生業(1) 住宅(6) 家族(13) 離婚(7) 財産(28) 事故(3) 苦情(7) 生計(9) その他(10)
-------------------------------	--	---

行政書士相談 10件	愛媛行政書士会松山支部所属 行政書士 (ボランティアセンターで 毎月第2金曜日)	相続ほか
税理士相談 13件	四国税理士会松山支部所属 税理士 (ボランティアセンターで 毎月第2・4火曜日)	税務相談ほか

10. 高齢者見守り員設置事業

※決算区分No.12

【事業内容】			
<p>おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、見守りや相談支援を行うことにより、不測の事態を未然に防ぐよう努めた。また、研修会を開催し高齢者見守り員の資質の向上を図った。</p>			
【実績】			
見守り員数	対象者数	内 容	備 考
93人	約600人	<ul style="list-style-type: none"> ・友愛訪問 ・各地区定例会の開催、全体研修会2回、視察研修1回の開催 ・関係各機関の行事に協力 ・緊急時安心キットの配付 	定例会を開催し、情報交換及び関係事業の総合調整を行っている。

11. ふれあい・いきいきサロン事業

※決算区分No.13

【事業内容】	
<p>地域の世話人が中心となり、集会所等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を設け、簡単なレクリエーションをしたり、いっしょに食事をしたりすることで毎日の生活に変化をつけるとともに孤独感の解消につなげた。</p>	
【実績】	
<p>1. サロン数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン数 70 (内訳：大平6、中村12、郡中18、上野11、中山12、双海11) ・実施回数 633回/年 	

・参加者数	延 10,018 人 (平均 15.8 人/回)
2. 世話人研修会	
① 開催日	令和2年9月16日
開催場所	ウェルピア伊予
テーマ及 び講師	「笑いヨガ」 えひめ笑いヨガ協会 丹下 隆清 氏
参加者数	55人

12. ボランティア活動推進事業

※決算区分No.14

<p>【事業内容】</p> <p>ボランティアセンターを活用し、ボランティア意識の高揚やボランティア活動の輪を広げるための各種講座等を開催するとともに、ぽかりん通信を奇数月に発行して情報発信を行った。</p> <p>また、災害に備えて災害ボランティア養成講座を行った。</p>								
<p>【実績】</p> <p>1. ボランティアセンターの活動</p> <p>①ボランティア活動の相談・援助 相談件数 1 件、援助件数 1 件</p> <p>②ボランティア保険への加入手続き</p> <table border="0"> <tr> <td>ボランティア活動保険</td> <td>31 件</td> </tr> <tr> <td>ボランティア行事用保険</td> <td>9 件</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス総合補償</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>大規模災害保険</td> <td>1 件</td> </tr> </table> <p>③ボランティア講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手品・バルーンアート入門講座 4 回開催、受講者 15 人 ・傾聴ボランティア養成講座 4 回開催、受講者 14 人 <p>④イベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具転倒防止事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>⑤手話サロンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 毎月第3月曜日、計 11 回 (4・5 月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・延参加者 28 人 <p>⑥ぽかりん☆サロンの開設 (常設、自主事業)</p>	ボランティア活動保険	31 件	ボランティア行事用保険	9 件	福祉サービス総合補償	3 件	大規模災害保険	1 件
ボランティア活動保険	31 件							
ボランティア行事用保険	9 件							
福祉サービス総合補償	3 件							
大規模災害保険	1 件							

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦広報啓発

- ・ 広報誌「ぽかりん通信」の発行（年6回）
- ・ ボランティア活動情報の掲示
- ・ インターネット等によるボランティアの啓発

⑧その他

- ・ 福祉教育として市内の小学校3校に、計4回の講師派遣
車いすや高齢者疑似体験グッズの貸出 1件
- ・ ボランティア連絡協議会の運営
伊予市ボランティア連絡協議会交流会 8月28日 花の森ホテル 27名
- ・ エコキャップやプルタブの回収
- ・ 各種研修会等への参加 など

2. ボランティアセンターの施設利用状況

- ・ 会議室等の名称
第1活動室、第2活動室、第3活動室、録音室、集いの場
- ・ 利用者数
延 5,809名

13. じゅらく生きがい活動センター事業

※決算区分No.15~17

【事業内容】

介護予防拠点施設として、レクリエーションや機能訓練を行うことで、健康増進や筋力維持を図り、明るく楽しい生活を営むことができるよう、各種教室の開催や、介護保険制度を利用しないデイサービスなどを実施した。

【業務内容】

1. 施設の維持管理及び利用許可、交流の場の提供。
2. 介護予防の普及啓発に関する事業の実施
3. 趣味及び生きがい活動に関する事業の実施
4. 地域活動及び世代間交流等に関する事業の実施
5. その他地域福祉の向上に関する支援など

【実績】

1. じゅらく生きがい活動センター

- ・開館日数 202日（月曜日～金曜日、週5日）
- ・介護予防に関する事業利用者数 延べ 2,338人（月平均 234人）
内 通所サービス利用者数（週2回）延べ 1,096人（月平均 110人）
- ・集いの場・集会室等利用者数 延べ 11,783人（月平均 1,178人）
内 入浴利用者数（週1回） 0人

2. 双海生きがい活動センター

- ・開館日数 202日（月曜日～金曜日、週5日）
- ・介護予防に関する事業利用者数 延べ 532人（月平均 53人）
- ・憩いの場・入浴等利用者数 延べ 2,233人（月平均 223人）
内 入浴利用者数（週3回） 延べ 802人（月平均 80人）

3. 下灘老人憩の家

- ・開館日数 122日（月曜日・水曜日・金曜日、週3日）
- ・介護予防に関する事業利用者数 延べ 380人（月平均 38人）
- ・憩いの場・入浴等利用者数 延べ 1,414人（月平均 141人）
内 入浴利用者数（週3回） 延べ 350人（月平均 44人）

※ 3施設ともに4・5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止により利用中止。
下灘老人憩の家の2・3月の入浴は設備故障により利用中止。

《在宅介護事業》**14. 在宅介護支援センター事業**

※決算区分No.18

【事業内容】

在宅や地域生活をおくる上で援護を必要とする高齢者及びその家族等の相談に応じ、必要な保健・福祉・医療サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行うとともに、介護予防や独居高齢者等の見守り、あるいは虐待などさまざまな課題の発見及び解決に向けた支援を行った。

【実績】

- | | | |
|-------|----------|--------|
| ・相談者数 | 実人数 22人 | |
| ・相談内容 | 介護保険 22件 | 合計 22件 |

15. 徘徊高齢者 SOS ネットワーク（在宅介護支援センター）事業 ※決算区分No.18

【事業内容】

認知症高齢者の所在がわからなくなった場合に、伊予市、伊予警察署その他関係機関・団体等が一体となって早期発見・保護に努め、認知症高齢者を抱える家族が安心して生活できるよう支援した。

【実績】

- ・登録者数 24 人（令和 3 年 3 月末現在）
内 訳：伊予 19 人・中山 3 人・双海 2 人
- ・発動件数 1 件

17. 伊予市子育て支援ヘルパー派遣事業 ※決算区分No.21

【事業内容】

妊娠中及び出産後の母子並びに児童の養育について支援が必要である家庭に対し、家事や育児の支援を行うことにより、心身の安定と育児不安を解消し、養育者の負担軽減と安定した児童の養育を図れるようにした。

【実績】

相談－2 件 利用－2 件

18. 伊予市一般介護予防事業 ※決算区分No.22

【事業内容】

市内在住の 65 歳以上の高齢者やその支援活動に関わる方に対し、要介護状態に陥ることなく地域で自立した生活が送れるよう、転倒予防、認知症予防などの介護予防のための知識の普及、啓発等を行った。

【実績】

1. 認知症予防教室

実施期間	令和 2 年 4 月 5 日～令和 3 年 2 月 28 日
実施場所	伊予市総合保健福祉センター、じゅらく生きがい活動センター、下灘老人憩の家、本郷集会所(伊予地区)
実施回数	12 回
参加者数	延 107 人

《介護保険事業》

19. 居宅介護支援事業

※決算区分No.19・20・23・24

【事業内容】		
介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において日常生活が送れるよう、本人や家族の希望、心身の状況に応じたケアプランを作成するとともに各種相談、介護サービス利用等の総合的な支援を行った。		
【実績】		
事業所名	介護支援専門員数	利用者数
伊予事務所	常勤 3人	実人数 131人 (うち介護予防 1人)
双海事務所	常勤 1人	実人数 53人 (うち介護予防 8人)

20. 訪問介護事業

※決算区分No.25～27

【事業内容】		
ホームヘルパーが要介護者等の家庭を訪問し、出来る限り自立した生活を送れるよう食事、入浴、排泄などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助を行った。		
【実績】		
1. 伊予事務所		
訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 3人	要介護者 13人	4,114 時間
非常勤 14人	要支援者 35人	
計 17人	総合事業対象者 1人	
2. 中山事務所		
訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人	要介護者 31人	4,675 時間
非常勤 12人	要支援者 11人	
計 14人		
3. 双海事務所		
訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人	要介護者 22人	2,575 時間

非常勤	5人	要支援者	17人		
計	7人				

《障害支援事業》

21. 障害者福祉サービス・地域生活支援事業

※決算区分No.28・34

【事業内容】								
身体・知的・精神障がい者（児）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行った。								
【実績】								
1. 居宅介護等事業 (単位：人、回、時間)								
	延べ人数	派遣回数	家事	身体	通院身有	通院身無	同行援護	時間合計
身体障害	104	1,744	1,169:30	289:00	29:30			1,488:00
障害児								
知的障害	146	2,633	1,253:30	677:00	3:30	81:30		2,015:30
精神障害	299	3,115	1,898:30	437:00		130:00		2,465:30
同行援護	27	158					202:30	202:30
合計	576	7,650	4,321:30	1,403:00	33:00	211:30	202:30	6,171:30
2. 地域生活支援事業								
障害種別	利用実人数	派遣延回数	派遣時間					
身体障害								
知的障害								
精神障害	2	166	105:00					

22. 障害者相談支援事業

※決算区分No.29～33

【事業内容】
1. 一般相談支援事業
(1) 福祉サービスの利用援助
(2) 社会資源を活用するための支援
(3) 社会生活力を高めるための支援、社会生活訓練プログラムの実施
(4) ピアカウンセリング
(5) 権利擁護のために必要な援助

(6) 専門機関の紹介

2. 障害者相談支援センター事業

- (1) 基幹相談支援センター等機能強化事業（障害者相談支援事業を円滑に実施し、地域の相談支援機能を強化するもの）
- (2) 住宅入居等支援事業（賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障がい者に対し、入居に必要な調整等を行う）
- (3) 障害者虐待防止、障がい者の養護者に対する支援業務

3. 特定相談支援事業

特定・障害児相談支援、基本相談支援に加え、相談支援専門員がアセスメントを行い、障がい者の自立した生活を支えると共に抱える課題の解決や本人に必要なサービスの種類と利用量を的確に見極め、サービス等利用計画の作成と一定期間ごとの見直し（モニタリング）

4. 地域相談支援事業

障害者施設等に入居している障がい者又は精神病院に入院している精神障害者その他の地域における生活に移行するために重点的な支援を必要とする者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の支援（地域移行支援計画の作成・月2回以上の面談）

【実績】

1. 一般相談支援事業

- 利用者数 261人（障がい者213人、障がい児48人）
- 相談件数 1,055件（障がい者887件、障がい児168件）
- 支援内容及び件数
 - ・福祉サービスの利用等（167）、障がいや病状の理解（123）、健康・医療（111）、不安解消・情緒安定（57）、保育・教育（34）、家族関係・人間関係（78）、家計・経済（66件）、生活技術（136）、就労（73）、社会参加・余暇活動（14）、権利擁護（6）、その他（190）

合計 1,055件

2. 障害者相談支援センター事業

- 関係機関定例会の開催
 - ・相談支援事業者等定例会
 - 期 間 令和2年4月～令和3年3月
 - 回 数 8回
 - 場 所 社協伊予事務所2階会議室
 - 参加者 延べ58人
 - 内 容 情報提供・情報共有、事例検討ほか
 - ・障がい児福祉サービス事業者等定例会
 - 期 間 令和2年4月～令和3年3月

回数 4回
場所 社協伊予事務所2階会議室
参加者 延べ56人
内容 情報提供・情報共有・事例検討ほか

○障がい福祉サービス等事業者研修会の開催

期間 令和2年4月～令和3年4月
回数 0回

年間5回を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止にて中止

3. 特定相談支援事業

○計画相談支援

件数 520件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内容 利用支援（108件）、継続支援（262件）、入院時情報連携加算（1件）、初回加算（16件）、サービス提供時モニタリング加算（133件）

○障がい児相談支援

件数 297件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内容 利用支援（97件）、継続支援（135件）、初回加算（22件）、サービス提供時モニタリング加算（43件）

4. 地域相談支援事業

○地域移行支援・地域定着支援

件数 0件 実績なし